

談話室 ひこばえ俱楽部

産経新聞 令和2年（2020年）8月31日（月）

小学生から「情報モラル」を

大学生 伊藤勇飛 22

インターネットのSNS（会員制交流サイト）で、芸能人に対する誹謗中傷をよく目にする。SNS上の批判が原因かもしれない自殺事件もあった。

理由を考えたとき、インターネットが昔より簡単に利用できるようになつた半面、情報モラル教育が行き届いていないという背景があると思う。

携帯電話がまだ普及していない頃は、小学生や中学生で所持している人は少なかつた。今は小学生の時から携帯電話を当たり前に持ち、SNSなどに早くから関わる人が多くなつてきていた。ネットの向こう側にいる人への配慮がなく、匿名なので安易に誹謗中傷してしまう。ネット利用の際の基本的な注意点を教えられていない若者が増えてきているのだ。ネットの向こう側にいる人への配慮がなく、匿名なので安易に誹謗中傷してしまう。小学校から情報モラル教育を充実し、実践すべきだと思う。

（京都府八幡市）

※無断転載不可